



令和5年度情報化推進懇談会 補足資料

目次

1 本日の懇談会について

2 デジタル政策バージョン0.1の補足事項

(参考資料)

第1回懇談会委員意見サマリ

本日の懇談会について

本日の開催趣旨について

吹田市情報化推進懇談会は、次期計画の策定について、幅広い観点から意見を求めることを目的とする。

吹田市情報化推進計画の目的

吹田市情報化推進計画は、本市総合計画を実現するための情報化に関する計画である。本計画は、市民の利便性向上・行政運営の効率化に重点を置き、行政運営をデジタル前提で見直すデジタル・ガバメントの実現や官民データの利活用について、明確かつ具体的な計画を策定する。

本計画では、「基本理念」及び「基本方針」に則った「アクションプラン」を個別に策定することで、より詳細な達成目標や評価指標を定めることができ、適正なP D C Aサイクルによって目標の確実な達成を目指す。

吹田市情報化推進懇談会の概要

第1回 情報化推進懇談会

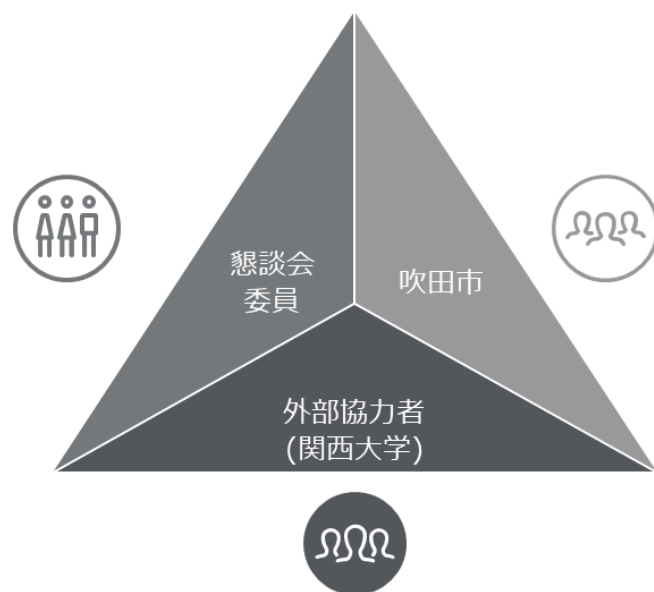
吹田市情報化推進計画の進捗状況を報告し、計画の策定方針について、意見聴取を行い次期計画の骨格を作ります。

第2回 情報化推進懇談会

本日

第1回情報化推進懇談会で意見聴取した内容等をもとに策定した計画素案に対して、意見聴取を行います。全2回の懇談会でのご意見をもとに策定した次期計画を令和6年3月開催予定の吹田市情報化推進本部会議にて承認後に公表を予定しています。

吹田市情報化推進計画の策定体制



第4期情報化推進計画及び前回会議まで使用していた「情報化推進計画」という表現を「デジタル政策」に変更しています。

(詳細は次ページ参照)

計画名称の変更

今回の計画で名称を「デジタル政策」に更新します。本年度策定する計画をデジタル政策とし、計画の見直し必要になった際は本会議を開催し、計画のバージョンアップを行います。



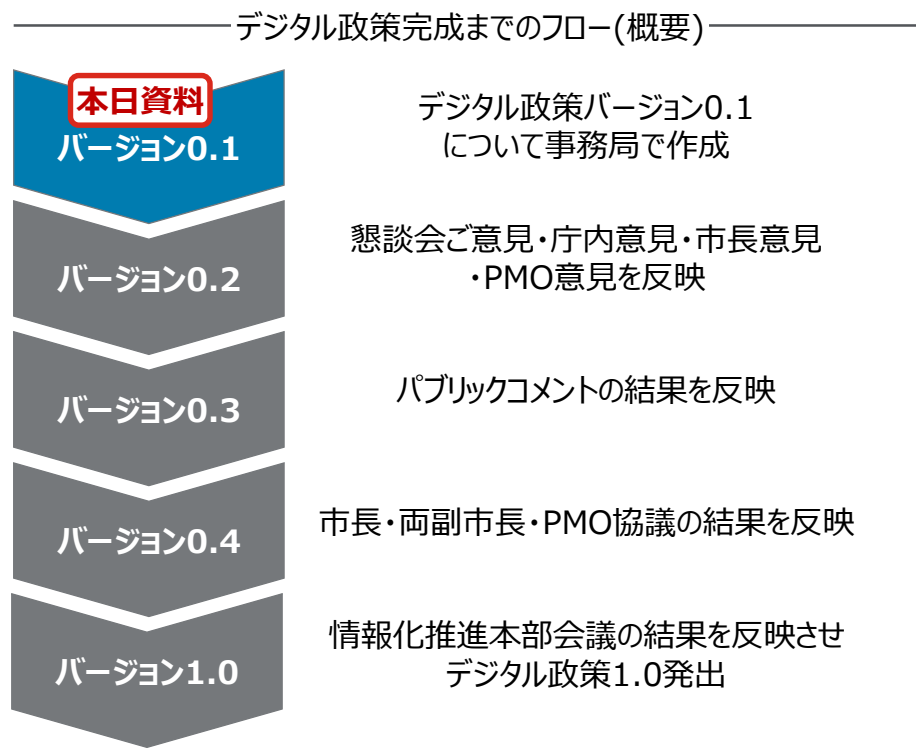
計画の名称について



「計画」は施策実行の具体的な予定があり、立てた計画の実績を積み上げるものを指します。



近年「情報化」という表現はあまり使用されないため、国でも使用されている「デジタル」に置き換え身近かつ分かりやすく表現しています。
また、「政策」として策定することで具体的な予定を立てず、流動的な施策を実行します。



※令和6年度に室名が「情報政策室」から「デジタル政策室」へと変わります。

全体スケジュール概要

第1回懇談会懇談会を経て、いただいたご意見を参考にデジタル政策の素案を策定しました。
今回の第2回懇談会でも、作成しました素案に対し、様々な角度からご意見を賜りたく存じます。



1 事務局にて、デジタル政策の策定における3つ方針やデジタル政策と総合計画の位置付けを見直し、計画における「めざす未来の姿」と「ビジョン」設計に関わるキーワードを抽出、また学生WGにおいてもキーワードについて協議を行い整理を行いました。
第1回での懇談会では、事務局の整理内容をもとに、次期計画に取り入れるべき視点について意見をいただきました。

2 第1回懇談会でいただいたご意見をもとに、次期計画であるデジタル政策バージョン0.1を作成しました。
デジタル政策素案の補足情報として、第1回懇談会で確認いただいた次期計画策定方針への対応、第1回懇談会の委員意見の反映内容や補足事項など次ページ以降にて整理を行っています。

2. デジタル政策バージョン0.1の補足事項

- ① デジタル政策の策定方針への対応
- ② デジタル政策と総合計画の関係性整理
- ③ 「めざす未来の姿」と「ビジョン」
- ④ デジタル政策の行動指針策定
- ⑤ デジタル政策の評価/見直し方針

①次期計画の策定方針への対応

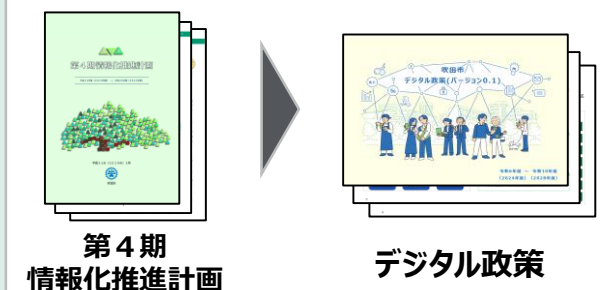
「イメージを掻き立てる」「全庁的な影響を与える」「デジタル化の加速に左右されない目標設定」の策定方針のもと、デジタル政策を策定します。

デジタル政策の策定方針
(第1回懇談会資料抜粋)

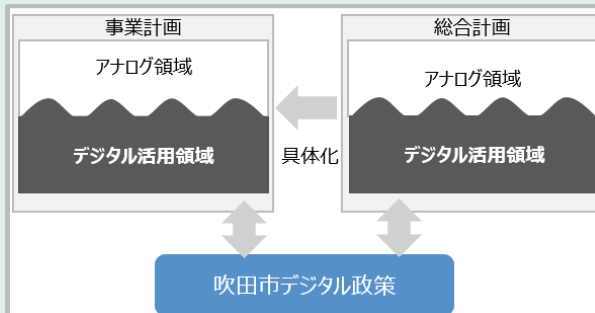


吹田市デジタル政策

全体イメージ



計画の位置付け



めざす未来の姿

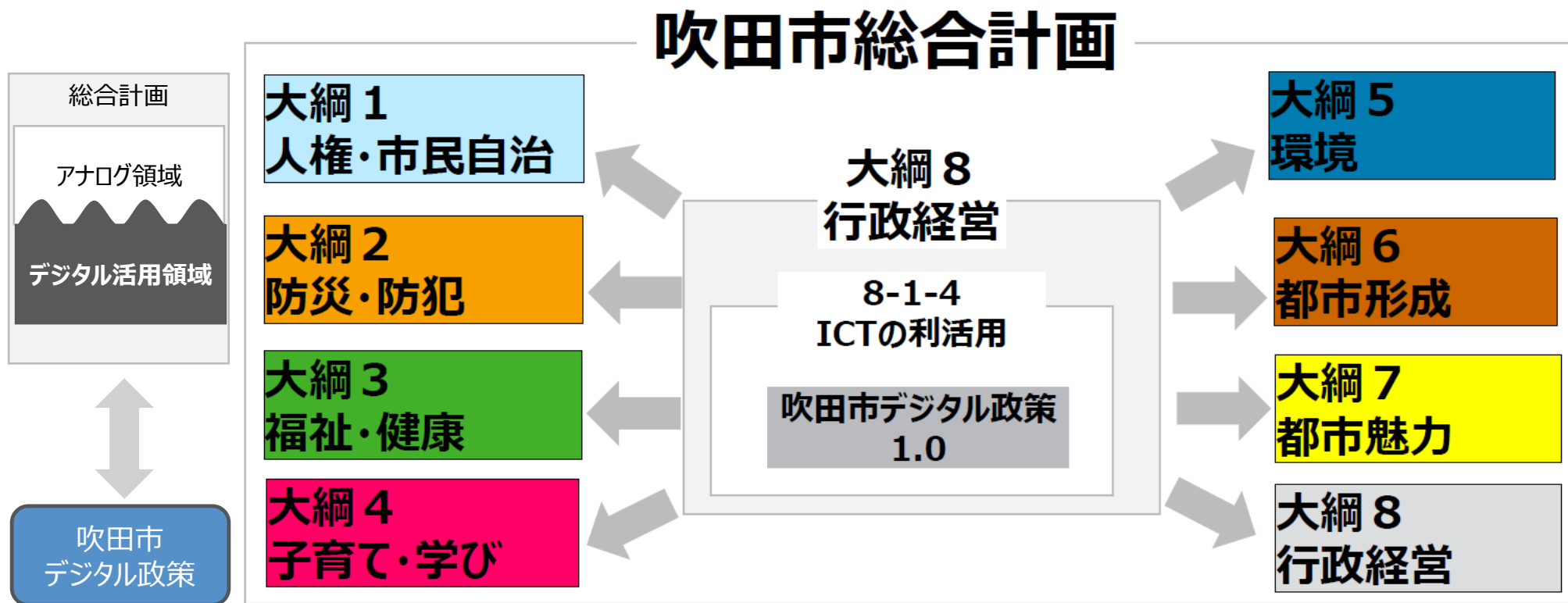


ポイント

デジタル政策ではイラストを活用し、市民・職員に手に取ってもらい分かりやすくメッセージを伝える資料を作成します。
また、デジタル政策が他計画に及ぼす影響を整理し、
デジタル化の加速に左右されない目標として「めざす未来の姿」を策定します。

② デジタル政策と総合計画の関係性整理

吹田市デジタル政策は、総合計画の「個別計画」の1つとして、主に行政経営におけるデジタル活用の観点から、補完・具体化を行い、アナログ領域を含めた総合計画全体の達成に寄与することをめざします。



第1回懇談会委員意見

- ✓ 総合計画との関係性の整理が必要ではないか。
- ✓ 「デジタルありきでない」はないということを前提とし、アナログで扱うべき領域との関係を明確にするべきではないか。

③「めざす未来の姿」と「ビジョン」

第1回情報化推進懇談会でいただいた皆様のご意見と事務局案を含めた計画の5つの視点を整理し、「めざす未来の姿」「ビジョン2024～2028」を定めました。

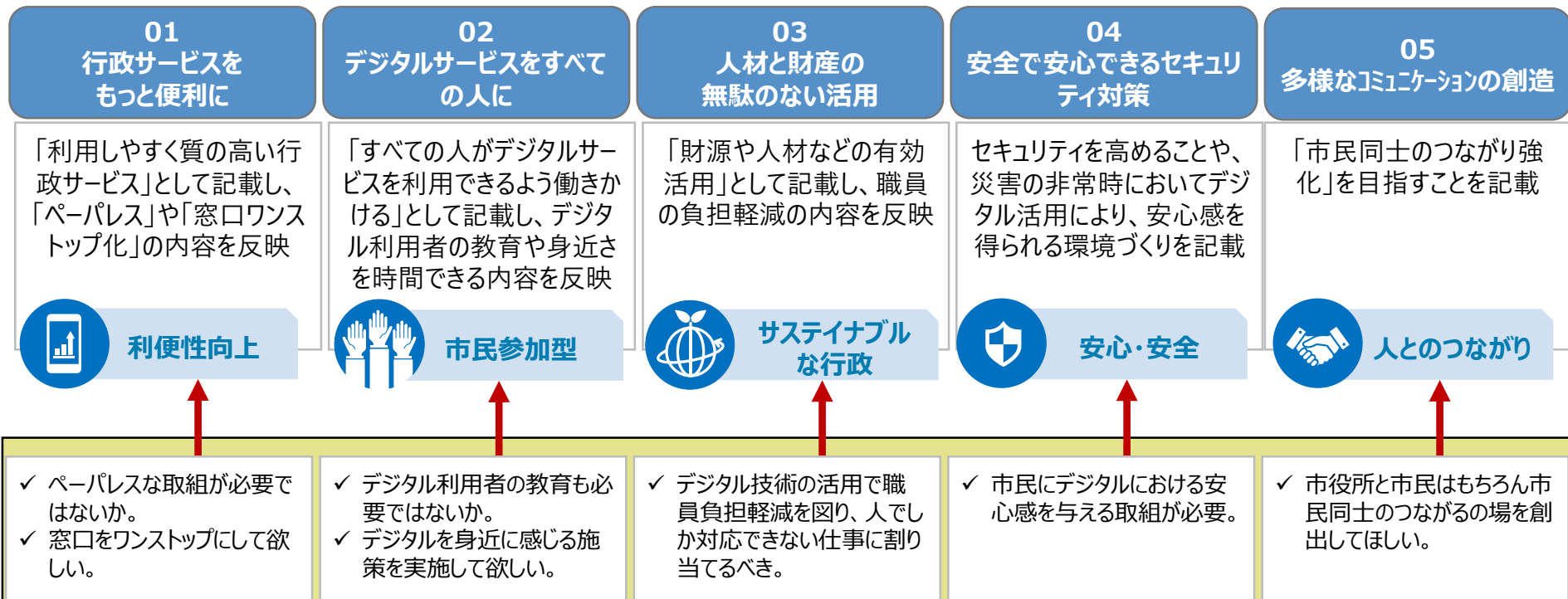
めざす未来の姿

人とつながる、すべての人にやさしいデジタルシティ



5つの視点に基づき、「すべての人」=市民
が自分事として意識できる表現を追加

ビジョン2024～2028



第1回懇談会委員意見

③ デジタル政策の目標策定（国・大阪府の動向への対応）

デジタル社会についてビジョンや自治体が具体的に取り組む内容が策定され、市町村DXの役割が重要視されています。デジタル政策では国の方針に則った政策を実行しつつ、大阪府が行っているスマートシティに関する取組を活用する計画を策定します。

吹田市デジタル政策

めざす未来の姿

人とつながる、
すべての人にやさしい
デジタルシティ

ビジョン2024～2028

01
行政サービスを
もっと便利に

02
デジタルサービスをすべて
の人に



【デジタル社会の目指すビジョン】
デジタル社会の活用により、一人ひとりの
ニーズにあったサービスを選ぶことができ、多
様な幸せが実現できる社会

デジタルにより目指す社会の姿を
ビジョンとして位置付けられた

デジタル社会に向けた重点計画

自治体フロントヤード改革の推進



重点計画等における各施策について、
自治体が重点的に取り組むべき
事項・内容を具体化

自治体DX推進計画

大阪スマートシティパートナーズフォーラム



住民のQoLの向上を目的として大阪のス
martシティ化を加速させ、府の取組に
よって大阪全体の発展に向けた取組の
方向性を明示

大阪府スマートシティ戦略2.0

ポイント

デジタル政策は国や大阪府の定める計画の方針に則っており、
デジタル政策の「めざす未来の姿」「ビジョン」とも整合しています。

③ デジタル政策の目標策定（学生WGの活動）

ビジョン・行動指針の名称・文章について、市民に伝わりやすいフラットな目線でわかりやすい単語や文章を考えていただき、反映しました。

ビジョン名称について

事務局案

市民の利便性向上に向けたサービス拡充

【学生WG意見】

- ✓ 「利便性向上」⇒「生活をもっと便利に」に変更することで伝わりやすくなる
- ✓ 「拡充」⇒「拡大・気軽に・らくらく」等固い表現は避ける

学生WG意見
反映バージョン

行政サービスをもっと便利に

「もっと便利に」の表現を取り
入れました。

ビジョン文章について

行政サービスをもっと便利に

民間企業や研究機関のもつデジタル技術を積極的に活用し、いつでも**手間なく簡単に**、質の高い行政サービスを提供し、市民生活の質の向上に**寄与**する市役所を目指します。

行政サービスをもっと便利に

デジタル活用を積極的に進め、利用しやすく質の高い行政サービスを提供し、市民生活の質の向上に貢献する市役所をめざします。

【学生WG意見】

- ✓ 民間企業や研究機関の表現は不要
- ✓ 「手間なく簡単に」⇒「簡単に」に変更することで、伝わりやすくなる
- ✓ 「寄与」という表現は固いため「貢献」という表現に変更し市役所の役割を表現

学生意見を取り入れつつ、「利用しやすく」について新たな表現を追加しました。

ポイント

すべてのビジョン・行動指針についてわかりやすい表現の意見をいただき、**コンパクトで伝わりやすい文章の見直し**を行いました。

④ デジタル政策の行動指針策定

第1回情報化推進懇談会でいただいた施策実行におけるご意見をデジタル政策では「行動指針」として策定します。



✓ 「デジタルありきでない」ということを前提とし、アナログで扱うべき領域との関係を明確にするべきではないか。

✓ デジタル分野は日々技術革新が進むので、施策を実施する際に長い期間かけて実施するよりも、思い切って取組を実施することが大事ではないか。

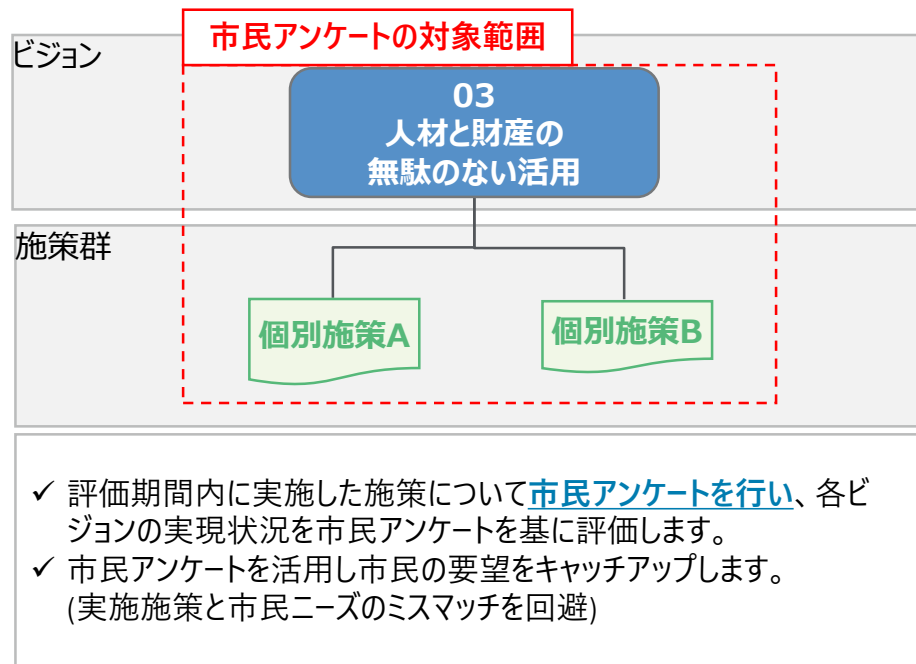
第1回懇談会委員意見

ポイント

いただいたご意見をもとに、ビジョンに沿って各施策を実行していく上で、「どのような考え方、アプローチで取り組むか」について行動指針として明記しました。

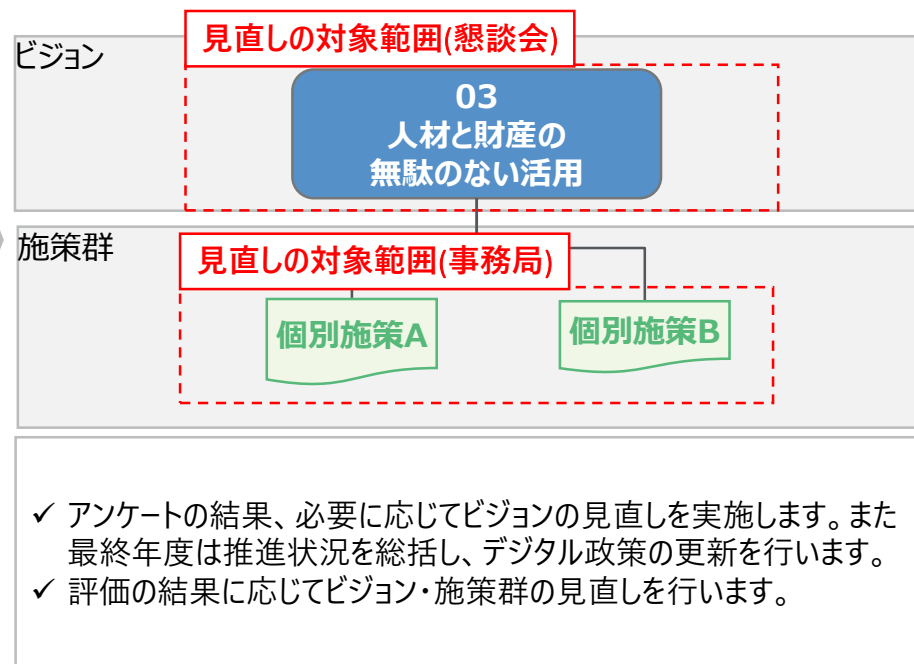
⑤ デジタル政策の評価/見直し方針

デジタル政策では市民アンケートをもとに行い結果を評価していきます。市役所が行う施策の中で市民のニーズのマッチしているものやしていないものの整理を行い、必要に応じてビジョンの見直しを行います。



- ✓ 行政が良かれと思ってい実行している施策が実は市民の望む施策ではない可能性があるのではないか。

第1回懇談会委員意見



ポイント

「行政が目指す施策」の視点ではなく、「市民が思うやってほしい施策」の視点で施策評価を行い、見直しを行います。

※市民アンケートは、R8年度とR10年度に実施予定

(参考資料)

第1回懇談会委員意見サマリ

委員意見サマリ

NO	いただいた御意見	反映箇所	本編該当ページ
1	市民が主役（自分のこととして意識）できるような計画にするべきではないか。	めざす未来の姿に「すべての人に」と記載することで、皆様に意識してもらえる計画としています。	P4
2	つながるAIを活用し、市役所と市民はもちろん、市民同士のつながりが持てる場の創出を期待している。	ビジョン05の中で「市民同士のつながりの強化」を目指すことを記載しています。	P7
3	「デジタルありきでない」はないということを前提とし、アナログで扱うべき領域との関係を明確にするべきではないか。	「デジタル政策の位置付け」の中で、デジタル活用領域とアナログ領域の関係を明確にしています。また、「行動指針」における「体系にこだわらない！」の中でも、「デジタル活用は手段である」ことを記載しています。	P3
5	デジタルを使う側の教育などの、人を伸ばす施策も必要ではないか。	ビジョン02において、「すべての人がデジタルサービスを利用できるように働きかける」と記載することで、利用者としての市民の方の「伸ばす」を表しています。また、ビジョン03において、「デジタル活用人材の内部育成」を記載しており、職員の「伸ばす」を表しています。	P5、P6
7	吹田市は大学が多い特性を活かし、研究機関や学生の力を借りて、各種デジタルに関する施策を実施してはどうか。	「行動指針」における「体系にこだわらない！」の中で、「内外を問わない組織連携」を記載しており、この外部には研究期間や学生の力を借りることも含まれています。	P8
8	デジタルを身近に感じられる施策を実施して欲しい。	ビジョン02において、「すべての人がデジタルサービスを利用できるように働きかける」と表しています。	P5

委員意見サマリ

NO	いただいた御意見	反映箇所	本編該当 ページ
9	デジタル分野は日々技術革新が進むので、施策を実施する際に、長い期間をかけて考えて実施するよりも、思い切って取組を実施することが大事ではないか。	「行動指針」における「スピーディ&シンプルに！」の中で表しております。	P8
10	デジタル技術の活用に職員負担軽減を図るべき。そこで余剰となった職員を窓口対応などの人にしかできない仕事に当てるべきではないか。	ビジョン03の中で職員負担軽減も含めた「財源や人材などの有効活用」を記載しています。また、「デジタル政策の位置付け」の中で「デジタル活用によりアナログ領域も含めた総合計画の達成に寄与すること」と記載しており、デジタル活用により余剰となった職員の配置や業務見直しも含めた最適化を表しています。	P4、P6
12	市役所は紙が多いので、ペーパーレスの取組が必要ではないか。	ビジョン01の中で「利用しやすく質の高い行政サービス」を記載しており、その中には「ペーパーレスの取組」も含まれています。	P5
13	窓口が多い。ワンストップ化して欲しい。	ビジョン01の中で「利用しやすく質の高い行政サービス」を記載しており、その中には「窓口ワンストップ化」も含まれています。	P5
14	市民にデジタルにおける安心感を与えられるような取組が必要ではないか。	ビジョン04の中でセキュリティを高めることや、災害などの非常時においてもデジタル活用により、安心感を得られる環境づくりを記載しています。	P6

委員意見サマリ

NO	いただいた御意見	反映箇所	本編該当 ページ
15	行政が良かれと思って実行している施策が実は市民の望む施策ではない可能性があるのではないか。	「デジタル政策推進のためのPDCA サイクル」に記載のとおり、「CHECK」のフェーズで市民アンケートを実施し、その結果に基づいて施策の充実等を図ります。	P9、P10
16	総合計画との関係性を整理する必要があるのではないか。	「デジタル政策の位置付け」にて、総合計画・事業計画との位置付けを整理し表しています。	P3